

学校コード F104310100898

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

東北学院大学 国際学部 国際教養学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人東北学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 教学組織改編推進室

職名・氏名 カチヨウ ホンマ ヒデカス
課長 本間 秀和

電話番号 022-264-6528

(夜間) 022-264-6528

e-mail oaor_2023@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

国際学部

＜国際教養学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東北学院

(2) 大学名

東北学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒980-8511

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

〒984-8588

宮城県仙台市若林区清水小路3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハラダ ヨシノリ) 原田 善教 (令和2年4月)		
学長	(オオニシ ハルキ) 大西 晴樹 (平成31年4月)		
学部長	(ワタナベ トモコ) 渡部 友子 (令和5年4月)		
学科長等	(ササキ イクコ) 佐々木 郁子 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学生定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 国際教養学科 学士(国際学)	文学関係	4年	130人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	520人	-	教養学部言語文化学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	130人	-			
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	600				
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	592	1.03倍	一倍	1.03倍	1.02倍
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	351				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	134				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	134 -
2年次			[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	- -
3年次					[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	- -
4年次							[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	- -
計	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	134 [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	134人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計	134	0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{134} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 国際教養学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
T G ベーシックス	人間的基礎	聖書を学ぶ	1前	2								兼1
		キリスト教の歴史と思想	1後	2								兼1
		キリスト教学A	3前・後	2								兼1
		キリスト教学B	3前・後	2								兼1
		キリスト教学C	3前・後	2								兼1
		キリスト教学D	3前・後	2								兼1
	知的基礎	共生社会と倫理	2前・後	2								兼3
		科学技術社会と倫理	2前・後	2								兼3
		よき社会生活のためにA (法律)	1前・後	2								兼1
		よき社会生活のためにB (福祉)	1前・後	2								兼1
		よき社会生活のためにC (健康)	1前・後	2								兼2
		リーディング&ライティング	1前・後	2								兼1
	課題探究	クリティカル・シンキング	1前・後	2								兼1
		情報リテラシー	1前・後	2								兼1
		統計的思考の基礎	1前・後	2								兼1
		科学的思考の基礎	1前・後	2								兼6
		キャリア形成の探究	1前	2								兼1
		東北学院史の探究	3前・後	2								兼1
	人文系	データ活用による探究	2前・後	2								兼2
地域ボランティア活動の探究		1前・後	2								兼1	
地域課題の探究		2前・後	2								兼1	
課題探究演習		1後	2								兼2	
哲学		1前・後	2								兼1	
芸術論		1前・後	2								兼1	
文化の歴史		1前・後	2								兼1	
音楽		1前・後	2								兼1	
倫理学		1前・後	2								兼1	
文学		1前・後	2								兼1	
歴史学		1前・後	2								兼1	
文化人類学		1前・後	2								兼1	
言語論		1前・後	2								兼1	
社会系	心理学	1前・後	2								兼9	
	社会学	1前・後	2								兼4	
	経営学	1前・後	2								兼2	
	経済学	1前・後	2								兼4	
	法学	1前・後	2								兼1	
	日本国憲法	1前・後	2								兼1	
	現代の政治	1前・後	2								兼1	
	地理学	1前・後	2								兼3	
	社会福祉論	1前・後	2								兼4	
	ジェンダー論	1前・後	2								兼1	
	東北地域論	1前・後	2								兼3	
	自然系	教理の科学	1前・後	2								兼6
		記号論理学	1前・後	2								兼1
生命の科学		1前・後	2								兼2	
環境の科学		1前・後	2								兼2	
自然の科学		1前・後	2								兼1	
先端科学と技術		1前・後	2								兼3	
AI社会の基礎	1前・後	2								兼4		
小計 (49科目)	—	6	92	0	0	0	0	0	0	0	兼82	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
T G ベーシックス	人間的基礎	聖書を学ぶ	1前	2								兼2
		キリスト教の歴史と思想	1後	2								兼1
		キリスト教学A	3前・後	2								兼1
		キリスト教学B	3前・後	2								兼1
		キリスト教学C	3前・後	2								兼1
		キリスト教学D	3前・後	2								兼1
	知的基礎	共生社会と倫理	2前・後	2								兼3
		科学技術社会と倫理	2前・後	2								兼3
		よき社会生活のためにA (法律)	1前・後	2								兼6
		よき社会生活のためにB (福祉)	1前・後	2								兼3
		よき社会生活のためにC (健康)	1前・後	2								兼9
		リーディング&ライティング	1前・後	2			1		1			兼14
	課題探究	クリティカル・シンキング	1前・後	2								兼14
		情報リテラシー	1前・後	2								兼1
		統計的思考の基礎	1前・後	2								兼7
		科学的思考の基礎	1前・後	2								兼12
		キャリア形成の探究	1前・後	2								兼4
		東北学院史の探究	3前・後	2								兼1
	人文系	データ活用による探究	2前・後	2								兼2
地域ボランティア活動の探究		1前・後	2								兼4	
地域課題の探究		2前・後	2								兼1	
課題探究演習		1後	2			1		1			兼16	
哲学		1前・後	2								兼3	
芸術論		1前・後	2								兼3	
文化の歴史		1前・後	2								兼6	
音楽		1前・後	2								兼2	
倫理学		1前・後	2								兼2	
文学		1前・後	2								兼2	
歴史学		1前・後	2								兼7	
文化人類学		1前・後	2								兼3	
言語論		1前・後	2								兼2	
社会系	心理学	1前・後	2								兼10	
	社会学	1前・後	2								兼8	
	経営学	1前・後	2								兼2	
	経済学	1前・後	2								兼2	
	法学	1前・後	2								兼4	
	日本国憲法	1前・後	2								兼4	
	現代の政治	1前・後	2			1					兼4	
	地理学	1前・後	2								兼4	
	社会福祉論	1前・後	2								兼4	
	ジェンダー論	1前・後	2								兼1	
	東北地域論	1前・後	2								兼10	
	自然系	教理の科学	1前・後	2								兼8
		記号論理学	1前・後	2								兼1
生命の科学		1前・後	2								兼2	
環境の科学		1前・後	2								兼5	
自然の科学		1前・後	2								兼5	
先端科学と技術		1前・後	2								兼6	
AI社会の基礎	1前・後	2								兼9		
小計 (49科目)	—	6	92	0	2	0	1	0	0	0	兼172	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
外国語科目	英語ⅠA	1前	1								兼1
	英語ⅠB	1後	1								兼1
	英語ⅡA	2前	1								兼1
	英語ⅡB	2後	1								兼1
	ドイツ語ⅠA	1前	2								兼1
	フランス語ⅠA	1前	2								兼2
	中国語ⅠA	1前	2								兼1
	韓国・朝鮮語ⅠA	1前	2								兼1
	ドイツ語ⅠB	1後	2								兼1
	フランス語ⅠB	1後	2								兼2
	中国語ⅠB	1後	2								兼1
	韓国・朝鮮語ⅠB	1後	2								兼1
	ドイツ語ⅡA	2前	1								兼1
	フランス語ⅡA	2前	1								兼2
	中国語ⅡA	2前	1								兼1
	韓国・朝鮮語ⅡA	2前	1								兼1
	ドイツ語コミュニケーションA	2前	1				1				兼1
	フランス語コミュニケーションA	2前	1								兼1
	中国語コミュニケーションA	2前	1								兼1
	韓国・朝鮮語コミュニケーションA	2前	1								兼1
	ドイツ語ⅡB	2後	1								兼1
	フランス語ⅡB	2後	1								兼2
	中国語ⅡB	2後	1								兼1
	韓国・朝鮮語ⅡB	2後	1								兼1
	ドイツ語コミュニケーションB	2後	1				1				兼2
	フランス語コミュニケーションB	2後	1								兼1
	中国語コミュニケーションB	2後	1								兼1
	韓国・朝鮮語コミュニケーションB	2後	1								兼1
	ドイツ語ⅢA	3前	1								兼1
	フランス語ⅢA	3前	1								兼2
	中国語ⅢA	3前	1								兼1
	韓国・朝鮮語ⅢA	3前	1								兼1
	ドイツ語ⅢB	3後	1								兼1
	フランス語ⅢB	3後	1								兼2
	中国語ⅢB	3後	1								兼1
	韓国・朝鮮語ⅢB	3後	1								兼1
	ベーシック英語	1前			1						
英語コミュニケーション	1前・後		2								兼1
英語ⅢA	3前		1								兼1
英語ⅢB	3後		1								兼1
小計(40科目)	—	4	44	1	0	1	0	0	0	0	兼11
保健体育	スポーツ実技A	1前・後		1							兼1
	スポーツ実技B	1前・後		1							兼1
	体育講義	1前・後		2							兼1
	小計(3科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2
留学科目	海外研究A	2通		4							兼1
	海外研究B	1後		2							兼1
	海外研究C	1後		1							兼1
	小計(3科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	兼1
帰外国生入科目	日本語ⅠA	1前		1					1		兼1
	日本語ⅠB	1後		1					1		兼1
	日本語ⅡA	2前		1							兼1
	日本語ⅡB	2後		1							兼1
	小計(4科目)	—	0	4	0	0	0	1	0	0	兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
外国語科目	英語ⅠA	1前	1								兼12
	英語ⅠB	1後	1								兼11
	英語ⅡA	2前	1						1		兼1
	英語ⅡB	2後	1								兼1
	ドイツ語ⅠA	1前	2								兼9
	フランス語ⅠA	1前	2								兼7
	中国語ⅠA	1前	2								兼11
	韓国・朝鮮語ⅠA	1前	2					1			兼7
	ドイツ語ⅠB	1後	2								兼8
	フランス語ⅠB	1後	2								兼5
	中国語ⅠB	1後	2								兼8
	韓国・朝鮮語ⅠB	1後	2						1		兼2
	ドイツ語ⅡA	2前	1								兼1
	フランス語ⅡA	2前	1								兼2
	中国語ⅡA	2前	1								兼1
	韓国・朝鮮語ⅡA	2前	1								兼1
	ドイツ語コミュニケーションA	2前	1					1			兼1
	フランス語コミュニケーションA	2前	1								兼1
	中国語コミュニケーションA	2前	1								兼1
	韓国・朝鮮語コミュニケーションA	2前	1								兼1
	ドイツ語ⅡB	2後	1								兼1
	フランス語ⅡB	2後	1								兼2
	中国語ⅡB	2後	1								兼1
	韓国・朝鮮語ⅡB	2後	1								兼1
	ドイツ語コミュニケーションB	2後	1					1			兼2
	フランス語コミュニケーションB	2後	1								兼1
	中国語コミュニケーションB	2後	1								兼1
	韓国・朝鮮語コミュニケーションB	2後	1								兼1
	ドイツ語ⅢA	3前	1								兼1
	フランス語ⅢA	3前	1								兼2
	中国語ⅢA	3前	1								兼1
	韓国・朝鮮語ⅢA	3前	1								兼1
	ドイツ語ⅢB	3後	1								兼1
	フランス語ⅢB	3後	1								兼2
	中国語ⅢB	3後	1								兼1
	韓国・朝鮮語ⅢB	3後	1								兼1
	ベーシック英語	1前			1						
英語コミュニケーション	1前・後		2								兼2
英語ⅢA	3前		1								兼1
英語ⅢB	3後		1								兼1
小計(40科目)	—	4	44	1	1	2	1	0	0	0	兼47
保健体育	スポーツ実技A	1前・後		1							兼5
	スポーツ実技B	1前・後		1							兼7
	体育講義	1前・後		2							兼1
	小計(3科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼12
留学科目	海外研究A	2通		4							兼1
	海外研究B	1後		2							兼1
	海外研究C	1後		1							兼1
	小計(3科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	0	兼1
帰外国生入科目	日本語ⅠA	1前		1					1		兼1
	日本語ⅠB	1後		1					1		兼1
	日本語ⅡA	2前		1							兼1
	日本語ⅡB	2後		1							兼1
	小計(4科目)	—	0	4	0	0	1	0	0	0	兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基幹科目	国際学概説	1前	2			7	5	2			
	異文化体験演習A(外国人支援)	2前	1			1	1				
	異文化体験演習B(インターンシップ)	2後	1			4					
	国際学演習I	3前	2			6	5	2			
	国際学演習II	3後	2			6	5	2			
	卒業演習I	4前	2			6	5	2			
卒業演習II	4後	2			6	5	2				
第1類	総合英語I A	1前	2			2					兼1
	総合英語I B	1後	2			2					兼1
	英語リーディングセミナーA	1前	1			1					兼1
	英語リーディングセミナーB	1後	1			1					兼1
	英語コミュニケーションセミナー	1前	1				1				兼1
	英語ディスカッションセミナー	1後	1				1				兼1
	初級中国語A	1前	2			2					兼1
	初級中国語B	1後	2			2					兼1
	実践中国語I A	1前	1			1					兼1
	実践中国語I B	1後	1			1					兼1
第2類	総合英語II	2前	2			1					兼1
	英語ライティングセミナー	2前	1			1					兼1
	英語プレゼンテーションセミナー	2後	1				1				兼1
	英語で学ぶ時事問題	2後	1			1					兼1
	英語で学ぶ日本の社会と文化	2後	1			1					兼1
	ビジネス英語	3前	1								兼1
	日英翻訳実践	3前	1			1					兼1
	英語検定試験研究	3後	1			1					兼1
	中級中国語A	2前	2			2					兼1
	中級中国語B	2後	2			2					兼1
第1類(言語と多文化共生)	実践中国語II A	2前	1			1					兼1
	実践中国語II B	2後	1			1					兼1
	上級中国語A	3前	1			1					兼1
	上級中国語B	3後	1			1					兼1
	実践中国語III A	3前	1			1					兼1
	実践中国語III B	3後	1			1					兼1
	中級韓国朝鮮語A	2前	2			2					兼1
	中級韓国朝鮮語B	2後	2			2					兼1
	実践韓国朝鮮語II A	2前	1			1					兼1
	実践韓国朝鮮語II B	2後	1			1					兼1
第2類	上級韓国朝鮮語A	3前	1			1					兼1
	上級韓国朝鮮語B	3後	1			1					兼1
	実践韓国朝鮮語III A	3前	1			1					兼1
	実践韓国朝鮮語III B	3後	1			1					兼1
	日本語のしくみ	1前	2			1					兼1
	日本語学I	1後	2			1					兼1
	日本語学II	2前	2			1					兼1
	異文化コミュニケーション論	2前	2				1				兼1
	比較文化論	2前	2			1					兼1
	ジェンダーと言語	2前	2			1					兼1
モノと宗教	2後	2			1					兼1	
社会言語学	2前	2				1				兼1	
共生言語学	2後	2				1				兼1	
比較言語論I	2後	2			1					兼1	
比較言語論II	3前	2			1					兼1	
言語習得論	3前	2			1					兼1	
言語政策論	3後	2				1				兼1	
言語とテクノロジー	3後	2				1				兼1	
Topics in Japanese Linguistics	2後	2			1					兼1	
Topics in Japanese Culture	3前	2			1					兼1	
World Englishes	3前	2				1				兼1	
World Religions	3後	2			1					兼1	
Popular Culture Studies	3後	2			1					兼1	
Understanding Multiculturalism	3後	2			1					兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
基幹科目	国際学概説	1前	2			7	6	1			
	異文化体験演習A(外国人支援)	2前	1			1	2				
	異文化体験演習B(インターンシップ)	2後	1			4					
	国際学演習I	3前	2			6	6	1			
	国際学演習II	3後	2			6	6	1			
	卒業演習I	4前	2			6	6	1			
卒業演習II	4後	2			6	6	1				
第1類	総合英語I A	1前	2			2					兼1
	総合英語I B	1後	2			2					兼1
	英語リーディングセミナーA	1前	1			1					兼1
	英語リーディングセミナーB	1後	1			1					兼1
	英語コミュニケーションセミナー	1前	1				1				兼1
	英語ディスカッションセミナー	1後	1				1				兼1
	初級中国語A	1前	2			2					兼1
	初級中国語B	1後	2			2					兼1
	実践中国語I A	1前	1			1					兼1
	実践中国語I B	1後	1			1					兼1
第2類	総合英語II	2前	2			1					兼1
	英語ライティングセミナー	2前	1			1					兼1
	英語プレゼンテーションセミナー	2後	1				1				兼1
	英語で学ぶ時事問題	2後	1			1					兼1
	英語で学ぶ日本の社会と文化	2後	1			1					兼1
	ビジネス英語	3前	1								兼1
	日英翻訳実践	3前	1			1					兼1
	英語検定試験研究	3後	1			1					兼1
	中級中国語A	2前	2			2					兼1
	中級中国語B	2後	2			2					兼1
第1類(言語と多文化共生)	実践中国語II A	2前	1			1					兼1
	実践中国語II B	2後	1			1					兼1
	上級中国語A	3前	1			1					兼1
	上級中国語B	3後	1			1					兼1
	実践中国語III A	3前	1			1					兼1
	実践中国語III B	3後	1			1					兼1
	中級韓国朝鮮語A	2前	2			2					兼1
	中級韓国朝鮮語B	2後	2			2					兼1
	実践韓国朝鮮語II A	2前	1			1					兼1
	実践韓国朝鮮語II B	2後	1			1					兼1
第2類	上級韓国朝鮮語A	3前	1			1					兼1
	上級韓国朝鮮語B	3後	1			1					兼1
	実践韓国朝鮮語III A	3前	1			1					兼1
	実践韓国朝鮮語III B	3後	1			1					兼1
	日本語のしくみ	1前	2			1					兼1
	日本語学I	1後	2			1					兼1
	日本語学II	2前	2			1					兼1
	異文化コミュニケーション論	2前	2				1				兼1
	比較文化論	2前	2			1					兼1
	ジェンダーと言語	2前	2			1					兼1
モノと宗教	2後	2			1					兼1	
社会言語学	2前	2				1				兼1	
共生言語学	2後	2				1				兼1	
比較言語論I	2後	2			1					兼1	
比較言語論II	3前	2			1					兼1	
言語習得論	3前	2			1					兼1	
言語政策論	3後	2				1				兼1	
言語とテクノロジー	3後	2				1				兼1	
Topics in Japanese Linguistics	2後	2			1					兼1	
Topics in Japanese Culture	3前	2			1					兼1	
World Englishes	3前	2				1				兼1	
World Religions	3後	2			1					兼1	
Popular Culture Studies	3後	2			1					兼1	
Understanding Multiculturalism	3後	2			1					兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
第2類(東アジア研究)	中国語圏の言語と文化	2前	2			1					兼1 兼1
	中国語圏文化論	2後	2			1					
	近現代中国の歴史と社会	2前	2								
	現代中国の諸問題	2後	2								
	東西文明交流Ⅰ	2前	2			1					
	東西文明交流Ⅱ	2後	2			1					
	朝鮮半島の文化と歴史Ⅰ	2前	2		1						
	朝鮮半島の文化と歴史Ⅱ	2後	2		1						
	東アジアと植民地支配	2前	2		1						
	越境と移民	2後	2		1						
	現代韓国の諸問題	3前	2		1						
	社会的マイノリティと差別	3後	2		1						
	China in Global Context	3前	2			1					
	Two Koreas in Global Context	3前	2		1						
	Contemporary Korean Culture	3後	2		1						
Japan in Global Context	3後	2			1						
第3類(グローバルスタディーズ)	グローバル政治論Ⅰ	2前	2			1					兼1 兼1
	グローバル政治論Ⅱ	2後	2			1					
	ナショナリズム論	2前	2			1					
	グローバリズムとナショナリズム	2後	2			1					
	会計の世界史	2前	2			1					
	震災とリスクマネジメント	2後	2			1					
	グローバル経済Ⅰ	2前	2			1					
	グローバル経済Ⅱ	2後	2			1					
	開発と政治	3前	2			1					
	平和論	3前	2			1					
	グローバル・トピックス	2前	2			1					
	グローバルビジネスと会計情報Ⅰ	3前	2			1					
	グローバルビジネスと会計情報Ⅱ	3後	2			1					
	International RelationsⅠ	2前	2				1				
	International RelationsⅡ	2後	2				1				
Understanding Global SocietyⅠ	3前	2				1					
Understanding Global SocietyⅡ	3後	2				1					
Global Business Case StudiesⅠ	3前	2			1						
Global Business Case StudiesⅡ	3後	2			1						
Contemporary Political Issues	3後	2			1						
小計(10科目)	—	10	163	0	7	5	2	0	0	0	兼8
資格関係科目	日本語教育学概論Ⅰ	1後	2				1				
	日本語教育学概論Ⅱ	2前	2				1				
	日本語教授法	2後	2			1					
	日本語教育文法論	3前	2				1				
	日本語教育学特論Ⅰ	3前	2			1					
	日本語教育学特論Ⅱ	3後	2			1					
	日本語教育実習法Ⅰ	3前	2				1				
	日本語教育実習法Ⅱ	3後	2				1				
	日本語教育実習Ⅰ	4前	2					1			
	日本語教育実習Ⅱ	4後	2					1			
小計(10科目)	—	0	20	0	0	1	1	0	0	0	
合計(210科目)	—	20	334	1	7	5	2	0	0	0	兼99
卒業要件及び履修方法											
<p>教養教育科目から34単位、外国語科目から4単位、専門科目から64単位、その他選択科目から22単位以上を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>なお、教養教育科目の選択科目のうち、TGページ区分の「キリスト教学A」、「キリスト教学B」、「キリスト教学C」、「キリスト教学D」から2単位選択必修、「共生社会と倫理」、「科学技術社会と倫理」から2単位選択必修、「よき社会生活のためにA(法律)」、「よき社会生活のためにB(福祉)」、「よき社会生活のためにC(健康)」から2単位選択必修、「リーディング&ライティング」、「クリティカル・シンキング」から2単位選択必修、「統計的思考の基礎」、「科学的思考の基礎」から2単位選択必修、課題探究区分から6単位選択必修、共通教養科目区分の人文系区分から4単位選択必修、社会系区分から4単位選択必修、自然系区分から4単位選択必修とする。</p> <p>専門科目の選択科目においては、専門外国語科目の第1類から6単位選択必修、第2類から8単位選択必修とする。また第1類(言語と多文化共生)から4単位選択必修、第2類(東アジア研究)から4単位選択必修、第3類(グローバルスタディーズ)から4単位選択必修とし、かつ第1類から第3類の合計が40単位以上になるよう選択して修得する。</p> <p>【履修登録上の制限】 1年間に履修登録できる単位数の上限は、第1学年次から第3学年次を40単位、第4学年次を46単位とする。ただし、資格科目については上限を超えて履修することができる。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
第2類(東アジア研究)	中国語圏の言語と文化	2前	2			1					兼1 兼1
	中国語圏文化論	2後	2			1					
	近現代中国の歴史と社会	2前	2								
	現代中国の諸問題	2後	2								
	東西文明交流Ⅰ	2前	2			1					
	東西文明交流Ⅱ	2後	2			1					
	朝鮮半島の文化と歴史Ⅰ	2前	2		1						
	朝鮮半島の文化と歴史Ⅱ	2後	2		1						
	東アジアと植民地支配	2前	2		1						
	越境と移民	2後	2		1						
	現代韓国の諸問題	3前	2		1						
	社会的マイノリティと差別	3後	2		1						
	China in Global Context	3前	2			1					
	Two Koreas in Global Context	3前	2		1						
	Contemporary Korean Culture	3後	2		1						
Japan in Global Context	3後	2			1						
第3類(グローバルスタディーズ)	グローバル政治論Ⅰ	2前	2			1					兼1 兼1
	グローバル政治論Ⅱ	2後	2			1					
	ナショナリズム論	2前	2			1					
	グローバリズムとナショナリズム	2後	2			1					
	会計の世界史	2前	2			1					
	震災とリスクマネジメント	2後	2			1					
	グローバル経済Ⅰ	2前	2			1					
	グローバル経済Ⅱ	2後	2			1					
	開発と政治	3前	2			1					
	平和論	3前	2			1					
	グローバル・トピックス	2前	2			1					
	グローバルビジネスと会計情報Ⅰ	3前	2			1					
	グローバルビジネスと会計情報Ⅱ	3後	2			1					
	International RelationsⅠ	2前	2				1				
	International RelationsⅡ	2後	2				1				
Understanding Global SocietyⅠ	3前	2				1					
Understanding Global SocietyⅡ	3後	2				1					
Global Business Case StudiesⅠ	3前	2			1						
Global Business Case StudiesⅡ	3後	2			1						
Contemporary Political Issues	3後	2			1						
小計(10科目)	—	10	163	0	7	5	2	0	0	0	兼8
資格関係科目	日本語教育学概論Ⅰ	1後	2				1				
	日本語教育学概論Ⅱ	2前	2				1				
	日本語教授法	2後	2			1					
	日本語教育文法論	3前	2				1				
	日本語教育学特論Ⅰ	3前	2			1					
	日本語教育学特論Ⅱ	3後	2			1					
	日本語教育実習法Ⅰ	3前	2				1				
	日本語教育実習法Ⅱ	3後	2				1				
	日本語教育実習Ⅰ	4前	2					1			
	日本語教育実習Ⅱ	4後	2					1			
小計(10科目)	—	0	20	0	0	1	1	0	0	0	
合計(210科目)	—	20	334	1	7	5	2	0	0	0	兼99
卒業要件及び履修方法											
<p>教養教育科目から34単位、外国語科目から4単位、専門科目から64単位、その他選択科目から22単位以上を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>なお、教養教育科目の選択科目のうち、TGページ区分の「キリスト教学A」、「キリスト教学B」、「キリスト教学C」、「キリスト教学D」から2単位選択必修、「共生社会と倫理」、「科学技術社会と倫理」から2単位選択必修、「よき社会生活のためにA(法律)」、「よき社会生活のためにB(福祉)」、「よき社会生活のためにC(健康)」から2単位選択必修、「リーディング&ライティング」、「クリティカル・シンキング」から2単位選択必修、「統計的思考の基礎」、「科学的思考の基礎」から2単位選択必修、課題探究区分から6単位選択必修、共通教養科目区分の人文系区分から4単位選択必修、社会系区分から4単位選択必修、自然系区分から4単位選択必修とする。</p> <p>専門科目の選択科目においては、専門外国語科目の第1類から6単位選択必修、第2類から8単位選択必修とする。また第1類(言語と多文化共生)から4単位選択必修、第2類(東アジア研究)から4単位選択必修、第3類(グローバルスタディーズ)から4単位選択必修とし、かつ第1類から第3類の合計が40単位以上になるよう選択して修得する。</p> <p>【履修登録上の制限】 1年間に履修登録できる単位数の上限は、第1学年次から第3学年次を40単位、第4学年次を46単位とする。ただし、資格科目については上限を超えて履修することができる。</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・履修者数増加の理由により開講コマを増やしたため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
 - 「聖書を学ぶ」兼1→2
 - 「英語コミュニケーション」兼1→2
 - 「スポーツ実技A」兼1→5
 - 「スポーツ実技B」兼1→7
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
 - 「よき社会生活のためにA（法律）」兼1→5
 - 「よき社会生活のためにB（福祉）」兼1→3
 - 「よき社会生活のためにC（健康）」兼2→9
 - 「クリティカル・シンキング」兼1→3
 - 「統計的思考の基礎」兼1→7
 - 「科学的思考の基礎」兼6→12
 - 「地域ボランティア活動の探究」兼1→4
 - 「哲学」兼1→3
 - 「芸術論」兼1→3
 - 「文化の歴史」兼1→6
 - 「音楽」兼1→2
 - 「倫理学」兼1→2
 - 「文学」兼1→2
 - 「歴史学」兼1→7
 - 「文化人類学」兼1→3
 - 「言語論」兼1→2
 - 「社会学」兼4→8
 - 「法学」兼1→4
 - 「日本国憲法」兼1→4
 - 「地理学」兼3→4
 - 「東北地域論」兼3→10
 - 「数理の科学」兼6→8
 - 「環境の科学」兼2→5
 - 「自然の科学」兼1→5
 - 「先端科学と技術」兼3→6
 - 「AI社会の基礎」兼4→9
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「専任教員等の配置」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。
 - 「リーディング&ライティング」教授0→1、講師0→1、兼1→14
 - 「課題探究演習」教授0→1、講師0→1、兼2→16
 - 「現代の政治」教授0→1、兼1→4
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより、次の科目の「配当年次」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。
 - 「キャリア形成の探究」1前→1前・後、兼1→4
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
 - 「心理学」兼9→10
 - 「経済学」兼4→2
- ・教養教育センターが習熟度によるクラス編成を実施し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
 - 「英語 I A」兼1→12
- ・教養教育センターが習熟度によるクラス編成を実施し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「専任教員等の配置」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。
 - 「英語 I B」講師0→1、兼1→11
- ・教養教育センターが第二外国語に関して少人数クラス編成を導入し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
 - 「ドイツ語 I A」兼1→9
 - 「フランス語 I A」兼2→7
 - 「中国語 I A」兼1→11
 - 「ドイツ語 I B」兼1→8
 - 「フランス語 I B」兼2→5
 - 「中国語 I B」兼1→8
- ・教養教育センターが第二外国語に関して少人数クラス編成を導入し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「専任教員等の配置」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。
 - 「韓国・朝鮮語 I A」教授0→1、兼1→7
 - 「韓国・朝鮮語 I B」准教授0→1、兼1→2
- ・2023年4月昇任による職位変更のため、次の科目の「専任教員等の配置」欄を変更。
 - 「日本語 I A」准教授0→1、講師1→0
 - 「日本語 I B」准教授0→1、講師1→0
 - 「国際学概説」准教授5→6、講師2→1
 - 「異文化体験演習 A（外国人支援）」准教授1→2、講師1→0
 - 「国際学演習 I」准教授5→6、講師2→1
 - 「国際学演習 II」准教授5→6、講師2→1
 - 「卒業演習 I」准教授5→6、講師2→1
 - 「卒業演習 II」准教授5→6、講師2→1
 - 「共生言語学」准教授0→1、講師1→0
 - 「日本語教育学概論 I」准教授0→1、講師1→0
 - 「日本語教育学概論 II」准教授0→1、講師1→0
 - 「日本語教育文法論」准教授0→1、講師1→0
 - 「日本語教育実習法 I」准教授0→1、講師1→0
 - 「日本語教育実習法 II」准教授0→1、講師1→0
 - 「日本語教育実習 I」准教授0→1、講師1→0
 - 「日本語教育実習 II」准教授0→1、講師1→0

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	197 科目	1 科目	210 科目	12 科目 [0]	197 科目 [0]	1 科目 [0]	210 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{210} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の売買による修正(5)		
	校舎敷地	167,410.85㎡ 167,415.30㎡	0㎡	0㎡	167,410.85㎡ 167,415.30㎡			
	運動場用地	59,142.06㎡	0㎡	0㎡	59,142.06㎡			
	小 計	226,552.91㎡ 226,557.36㎡	0㎡	0㎡	226,552.91㎡ 226,557.36㎡			
	そ の 他	126,712.00㎡ 126,097.07㎡	0㎡	0㎡	126,712.00㎡ 126,097.07㎡			
	合 計	353,264.91㎡ 352,654.43㎡	0㎡	0㎡	353,264.91㎡ 352,654.43㎡			
(2) 校舎	専 用	148,591.46㎡ 150,453.56㎡ (148,591.46㎡) (150,453.56㎡)	(0㎡)	(0㎡)	148,591.46㎡ 150,453.56㎡ (148,591.46㎡) (150,453.56㎡)	登記簿面積の確定等による修正(5)		
	共 用							
(3) 教室等	講義室	104室 99室	演習室 33室 40室	実験実習室 190室 186室	情報処理学習施設 11室 (補助職員8人)	語学学習施設 12室 (補助職員4人)	大学全体 用途変更等による修正(5)	
	新設学部等の名称		室 数					
(4) 専任教員研究室		国際学部国際教養学科		14 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	[大学全体での共用分] (図書) 982,278冊 (雑誌) 14,592種 (電子ジャーナル) 4,111点 (視聴覚資料) 16,512点 機械・器具、標本は学部単位での特定不能なため、大学全体の数
	国際学部 国際教養学科	203,469 [87,063] (203,469 [87,063])	29,842 [29,665] (29,842 [29,665])	29,571 [29,512] (29,571 [29,512])	139 (139)	3,017 (3,017)	84 (84)	
	計	203,469 [87,063] (203,469 [87,063])	29,842 [29,665] (29,842 [29,665])	29,571 [29,512] (29,571 [29,512])	139 (139)	3,017 (3,017)	84 (84)	
(6) 図書館	面 積	17,616.79㎡ 17,571.54㎡	閲覧座席数	1,146	収納可能冊数	1,522,222	大学全体 登記簿面積の確定等による修正(5)	
	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
(7) 体育館	9,197.65㎡		野球場2面、サッカー場1面、ラグビー場1面、トラック1面ほか			大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費等について、算出方法の誤りによる修正(5)
	教員1人当り研究費等	374千円 1,376千円	374千円 1,376千円	図書購入費	0千円	11,127千円	11,127千円	
		182千円 364千円	182千円 364千円		設備購入費	0千円	0千円	
	共同研究費等							
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,414千円	1,144千円	1,144千円	1,144千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、私立大学経常費補助金及び資産運用収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学名	東北学院大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員不足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員不足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
文学部	4	450	3年次 ₅	1810	-	1.02	1.02	1.00	0.99	-	昭和39	-						
英文学科	4	150	3年次 ₃	606	学士(文学)	1.02	1.02	0.97	0.97	-	昭和39	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(180→150) 編入学定員変更(2年次△6 3年次△9)					
総合人文学科	4	60	3年次 ₁	242	学士(文学)	1.02	1.02	1.00	0.99	-	平成23	宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	同上(50→60) 編入学定員変更(3年次△1)					
歴史学科	4	170	3年次 ₁	682	学士(文学)	1.03	1.02	1.02	1.00	-	平成17	宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	編入学定員変更(2年次△2 3年次△2)					
教育学科	4	70	-	280	学士(教育学)	1.02	1.02	1.03	1.02	-	平成30	-	令和5年度入学生より入学定員変更(50→70)					
経済学部	4	430	-	1720	-	1.02	1.02	1.01	0.99	-	-	-						
経済学科	4	430	-	1720	学士(経済学)	1.01	1.01	1.01	0.98	-	昭和39	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(440→430) 編入学定員変更(2年次△6 3年次△9)					
共生社会経済学科	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	-	-	-	平成21	宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より学生募集停止					
経営学部	4	341	3年次 ₂	1368	-	1.02	1.02	1.01	1.00	-	平成21	-						
経営学科	4	341	3年次 ₂	1368	学士(経営学)	1.02	1.02	1.01	1.00	-	平成21	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	編入学定員変更(2年次△6 3年次△6)					
法学部	4	355	-	1420	-	1.02	1.02	1.01	1.00	-	昭和40	-						
法律学科	4	355	-	1420	学士(法学)	1.02	1.02	1.01	1.00	-	昭和40	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(358→355) 編入学定員変更(2年次△4 3年次△6)					
工学部	4	360	-	1440	-	1.03	1.02	1.00	0.97	-	昭和37	-						
機械知能工学科	4	115	-	460	学士(工学)	1.04	1.03	1.01	0.98	-	平成18	-	令和5年度入学生より入学定員変更(110→115) 編入学定員変更(3年次△6)					
電気電子工学科	4	130	-	520	学士(工学)	1.02	1.02	1.00	0.98	-	平成29	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(110→130) 編入学定員変更(3年次△6)					
環境建設工学科	4	115	-	460	学士(工学)	1.03	1.02	1.00	0.96	-	平成18	宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(110→115) 編入学定員変更(3年次△5)					
情報基盤工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成29	-	令和5年度入学生より学生募集停止					
教養学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成1	-						
人間科学科	4	-	-	-	学士(教養学)	-	-	-	-	-	平成17	-	令和5年度入学生より学生募集停止					
言語文化学科	4	-	-	-	学士(教養学)	-	-	-	-	-	平成17	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	令和5年度入学生より学生募集停止					
情報科学科	4	-	-	-	学士(教養学)	-	-	-	-	-	平成17	宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より学生募集停止					
地域構想学科	4	-	-	-	学士(教養学)	-	-	-	-	-	平成17	-	令和5年度入学生より学生募集停止					
地域総合学部		295	-	1180	-	1.04	-	1.04	1.02	-	-	-						
地域コミュニティ学科	4	150	-	600	学士(地域学)	1.02	-	1.02	1.00	-	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号						
政策デザイン学科	4	145	-	580	学士(政策学)	1.05	-	1.05	1.04	-	令和5	宮城県仙台市若林区清水小路3番1号						
情報学部	4	190	-	760	-	1.12	-	1.12	1.11	-	-	-						
データサイエンス学科	4	190	-	760	学士(情報学)	1.12	-	1.12	1.11	-	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	編入学定員変更(3年次△5)					

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
人間科学部	4	165	-	660	-	1.01	-	1.01	1.00	-	-	-	-
心理行動科学科	4	165	-	660	学士(人間科学)	1.01	-	1.01	1.00	-	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	
国際学部	4	130	-	520	-	1.03	-	1.03	1.02	-	-	-	-
国際教養学科	4	130	-	520	学士(国際学)	1.03	-	1.03	1.02	-	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	
大学全体		2716	3年次 ⁷	10878	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際学部 国際教養学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡部 友子 (58) <令和5年4月> Ph.D. in English and Applied Linguistics (英国)
		国際学概説※ 総合英語 I A 総合英語 I B 英語リーディングセミナーA 英語リーディングセミナーB 総合英語 II 英語ライティングセミナー 英語で学ぶ時事問題 英語検定試験研究 言語習得論 Topics in Japanese Linguistics
専	教授	佐々木 郁子 (53) <令和5年4月> 博士(経済学)
		国際学概説※ 異文化体験演習B(インターンシップ) 会計の世界史 震災とリスクマネジメント グローバルビジネスと会計情報 I グローバルビジネスと会計情報 II Global Business Case Studies I Global Business Case Studies II 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
専	教授	Andrews Dale Kenneth (54) <令和5年4月> 博士(文学)
		国際学概説※ 英語で学ぶ日本の社会と文化 比較文化論 モノと宗教 Topics in Japanese Culture Popular Culture Studies World Religions 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
専	教授	郭 基煥 (55) <令和5年4月> 博士(学術)
		国際学概説※ 異文化体験演習B(インターンシップ) ナショナリズム論 グローバリズムとナショナリズム 東アジアと植民地支配 越境と移民 現代韓国の諸問題 社会的マイノリティと差別 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡部 友子 (58) <令和5年4月> Ph.D. in English and Applied Linguistics (英国)
		国際学概説※ 総合英語 I A 総合英語 I B 英語リーディングセミナーA 英語リーディングセミナーB 総合英語 II 英語ライティングセミナー 英語で学ぶ時事問題 英語検定試験研究 言語習得論 Topics in Japanese Linguistics
専	教授	佐々木 郁子 (53) <令和5年4月> 博士(経済学)
		国際学概説※ 異文化体験演習B(インターンシップ) 会計の世界史 震災とリスクマネジメント グローバルビジネスと会計情報 I グローバルビジネスと会計情報 II Global Business Case Studies I Global Business Case Studies II 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II リーディング&ライティング 課題探究演習
専	教授	Andrews Dale Kenneth (55) <令和5年4月> 博士(文学)
		国際学概説※ 英語で学ぶ日本の社会と文化 比較文化論 モノと宗教 Topics in Japanese Culture Popular Culture Studies World Religions 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
専	教授	郭 基煥 (55) <令和5年4月> 博士(学術)
		国際学概説※ 異文化体験演習B(インターンシップ) ナショナリズム論 グローバリズムとナショナリズム 東アジアと植民地支配 越境と移民 現代韓国の諸問題 社会的マイノリティと差別 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	古川 弘子 (48) <令和5年4月> PhD in Literary Translation (英国)
		国際学概説※ 総合英語 I A 総合英語 I B 日英翻訳実践 比較言語論 I ジェンダーと言語 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
専	教授	松谷 基和 (47) <令和5年4月> Ph.D in East Asian Studies (米国)
		国際学概説※ 異文化体験演習 B (インターンシップ) 実践韓国朝鮮語 III A 実践韓国朝鮮語 III B 朝鮮半島の文化と歴史 I 朝鮮半島の文化と歴史 II Two Koreas in Global Context Contemporary Korean Culture 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
専	教授	三須 拓也 (50) <令和5年4月> 博士(法学)
		国際学概説※ 異文化体験演習 B (インターンシップ) 開発と政治 グローバル政治論 I グローバル政治論 II 平和論 グローバル・トピックス Contemporary Political Issues 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
専	准教授	金 亨貞 (50) <令和5年4月> Ph.D. in Korean Language and Literature (韓国)
		国際学概説※ 初級韓国朝鮮語 A 初級韓国朝鮮語 B 中級韓国朝鮮語 A 中級韓国朝鮮語 B 上級韓国朝鮮語 A 上級韓国朝鮮語 B 比較言語論 II 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
専	准教授	城山 拓也 (41) <令和5年4月> 博士(文学)
		国際学概説※ 初級中国語 A 初級中国語 B 実践中国語 III A 実践中国語 III B 中国語圏の言語と文化 中国語圏文化論 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	古川 弘子 (48) <令和5年4月> PhD in Literary Translation (英国)
		国際学概説※ 総合英語 I A 総合英語 I B 日英翻訳実践 比較言語論 I ジェンダーと言語 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
専	教授	松谷 基和 (47) <令和5年4月> Ph.D in East Asian Studies (米国)
		国際学概説※ 異文化体験演習 B (インターンシップ) 実践韓国朝鮮語 III A 実践韓国朝鮮語 III B 朝鮮半島の文化と歴史 I 朝鮮半島の文化と歴史 II Two Koreas in Global Context Contemporary Korean Culture 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II 韓国・朝鮮語 I A
専	教授	三須 拓也 (50) <令和5年4月> 博士(法学)
		国際学概説※ 異文化体験演習 B (インターンシップ) 開発と政治 グローバル政治論 I グローバル政治論 II 平和論 グローバル・トピックス Contemporary Political Issues 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II 現代の政治
専	准教授	金 亨貞 (50) <令和5年4月> Ph.D. in Korean Language and Literature (韓国)
		国際学概説※ 初級韓国朝鮮語 A 初級韓国朝鮮語 B 中級韓国朝鮮語 A 中級韓国朝鮮語 B 上級韓国朝鮮語 A 上級韓国朝鮮語 B 比較言語論 II 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II 韓国・朝鮮語 I B
専	准教授	城山 拓也 (41) <令和5年4月> 博士(文学)
		国際学概説※ 初級中国語 A 初級中国語 B 実践中国語 III A 実践中国語 III B 中国語圏の言語と文化 中国語圏文化論 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	房 賢嬉 (48) <令和5年4月> 博士(人文科学)
		国際学概説※ 異文化体験演習A(外国人支援) 日本語のしくみ 日本語学I 日本語学II 社会言語学 日本語教授法 日本語教育学特論I 日本語教育学特論II 国際学演習I 国際学演習II 卒業演習I 卒業演習II
専	准教授	Flick Ulrich (41) <令和5年4月> DOKTORS DER PHILOSOPHIE(ドイツ連邦共和国)
		ドイツ語コミュニケーションA ドイツ語コミュニケーションB 国際学概説※ 東西文明交流I 東西文明交流II China in Global Context Japan in Global Context 国際学演習I 国際学演習II 卒業演習I 卒業演習II
専	准教授	李 承赫 (47) <令和5年4月> Doctor of Philosophy(カナダ)
		国際学概説※ 英語ディスカッションセミナー Understanding Multiculturalism International Relations I International Relations II Understanding Global Society I Understanding Global Society II 国際学演習I 国際学演習II 卒業演習I 卒業演習II
専	講師	沓掛 沙弥香 (34) <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		国際学概説※ 英語コミュニケーションセミナー 英語プレゼンテーションセミナー 異文化コミュニケーション論 World Englishes 言語政策論 国際学演習I 国際学演習II 卒業演習I 卒業演習II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	房 賢嬉 (48) <令和5年4月> 博士(人文科学)
		国際学概説※ 異文化体験演習A(外国人支援) 日本語のしくみ 日本語学I 日本語学II 社会言語学 日本語教授法 日本語教育学特論I 日本語教育学特論II 国際学演習I 国際学演習II 卒業演習I 卒業演習II
専	准教授	Flick Ulrich (41) <令和5年4月> DOKTORS DER PHILOSOPHIE(ドイツ連邦共和国)
		ドイツ語コミュニケーションA ドイツ語コミュニケーションB 国際学概説※ 東西文明交流I 東西文明交流II China in Global Context Japan in Global Context 国際学演習I 国際学演習II 卒業演習I 卒業演習II
専	准教授	李 承赫 (47) <令和5年4月> Doctor of Philosophy(カナダ)
		国際学概説※ 英語ディスカッションセミナー Understanding Multiculturalism International Relations I International Relations II Understanding Global Society I Understanding Global Society II 国際学演習I 国際学演習II 卒業演習I 卒業演習II
専	講師	沓掛 沙弥香 (34) <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		国際学概説※ 英語コミュニケーションセミナー 英語プレゼンテーションセミナー 異文化コミュニケーション論 World Englishes 言語政策論 国際学演習I 国際学演習II 卒業演習I 卒業演習II リーディング&ライティング 課題探究演習 英語IB

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	佐藤 真紀 (47) <令和5年4月> 博士(人文科学)
		国際学概説※ 日本語 I A 日本語 I B 異文化体験演習 A (外国人支援) 共生言語学 日本語教育学概論 I 日本語教育学概論 II 日本語教育文法論 日本語教育実習法 I 日本語教育実習法 II 日本語教育実習 I 日本語教育実習 II 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
兼任	教授	吉田 新 (44) <令和5年4月> DOCTORIS THEOLOGIAE (ドイツ連邦共和国) 聖書を学ぶ
兼任	教授	原田 浩司 (49) <令和5年4月> Master of Theology (英国) キリスト教の歴史と思想
兼任	教授	出村 みや子 (67) <令和5年4月> 博士(文学) キリスト教学 A
兼任	教授	川島 堅二 (64) <令和5年4月> 博士(文学) キリスト教学 B キリスト教学 D
兼任	教授	木村 純二 (52) <令和5年4月> 博士(文学) キリスト教学 C
兼任	教授	楊 世英 (62) <令和5年4月> 修士(経済学)※ 共生社会と倫理 中国語コミュニケーション A 中国語コミュニケーション B 実践中国語 II A 実践中国語 II B
兼任	教授	小澤 哲也 (50) <令和5年4月> 博士(工学) 科学技術社会と倫理
兼任	教授	斎藤 修 (63) <令和5年4月> 博士(工学) 科学技術社会と倫理
兼任	教授	中村 雄一 (68) <令和5年4月> 法学修士 よき社会生活のために A (法律)

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐藤 真紀 (47) <令和5年4月> 博士(人文科学)
		国際学概説※ 日本語 I A 日本語 I B 異文化体験演習 A (外国人支援) 共生言語学 日本語教育学概論 I 日本語教育学概論 II 日本語教育文法論 日本語教育実習法 I 日本語教育実習法 II 日本語教育実習 I 日本語教育実習 II 国際学演習 I 国際学演習 II 卒業演習 I 卒業演習 II
兼任	教授	吉田 新 (44) <令和5年4月> DOCTORIS THEOLOGIAE (ドイツ連邦共和国) 聖書を学ぶ キリスト教の歴史と思想
兼任	教授	出村 みや子 (68) <令和5年4月> 博士(文学) キリスト教学 A
兼任	教授	川島 堅二 (64) <令和5年4月> 博士(文学) キリスト教学 B キリスト教学 D
兼任	教授	木村 純二 (52) <令和5年4月> 博士(文学) キリスト教学 C
兼任	教授	楊 世英 (62) <令和5年4月> 修士(経済学)※ 共生社会と倫理 中国語コミュニケーション A 中国語コミュニケーション B 実践中国語 II A 実践中国語 II B 中国語 I A 中国語 I B
兼任	教授	小澤 哲也 (50) <令和5年4月> 博士(工学) 科学技術社会と倫理
兼任	教授	斎藤 修 (63) <令和5年4月> 博士(工学) 科学技術社会と倫理 先端科学と技術※
兼任	教授	中村 雄一 (68) <令和5年4月> 法学修士 よき社会生活のために A (法律)

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	伊鹿倉 正司 (47) <令和5年4月> 博士(経済学) よき社会生活のためにB(福祉)
兼任	教授	杉浦 茂樹 (54) <令和5年4月> 博士(情報科学) 情報リテラシー
兼任	教授	神林 博史 (51) <令和5年4月> 博士(文学) 統計的思考の基礎
兼任	教授	菅原 研 (54) <令和5年4月> 博士(情報科学) 科学的思考の基礎 AI社会の基礎

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石垣 茂光 (67) <令和5年4月> 博士(法学) よき社会生活のためにA(法律)
兼任	教授	菊地 雄介 (69) <令和5年4月> 法学修士 よき社会生活のためにA(法律)
兼任	教授	佐藤 英世 (67) <令和5年4月> 法学修士※ よき社会生活のためにA(法律)
兼任	教授	伊鹿倉 正司 (47) <令和5年4月> 博士(経済学) よき社会生活のためにB(福祉)
兼任	教授	坂本 譲 (51) <令和5年4月> 博士(障害科学) よき社会生活のためにC(健康)※ スポーツ実技B
兼任	教授	高橋 信二 (47) <令和5年4月> 博士(体育科学) よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	教授	郷古 学 (47) <令和5年4月> 博士(工学) リーディング&ライティング AI社会の基礎
兼任	教授	藤 祐司 (47) <令和5年4月> 博士(学術) リーディング&ライティング
兼任	教授	中村 教博 (53) <令和5年4月> 博士(理学) リーディング&ライティング 課題探究演習 自然の科学
兼任	教授	杉浦 茂樹 (54) <令和5年4月> 博士(情報科学) 情報リテラシー
兼任	教授	神林 博史 (51) <令和5年4月> 博士(文学) 統計的思考の基礎 社会学
兼任	教授	仙田 幸子 (52) <令和5年4月> 修士(社会学)※ 統計的思考の基礎
兼任	教授	菅原 研 (54) <令和5年4月> 博士(情報科学) 科学的思考の基礎 AI社会の基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	牧野 柁也 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学的思考の基礎 生命の科学
兼任	教授	松尾 行雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学的思考の基礎
兼任	教授	河西 晃祐 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(史学)
		東北学院史の探究 歴史学
兼任	教授	岩谷 幸雄 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		データ活用による探究
兼任	教授	金 義鎮 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		データ活用による探究
兼任	教授	千葉 昭彦 (63) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		課題探究演習
兼任	教授	千葉 智則 (62) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		課題探究演習 スポーツ実技B 体育講義
兼任	教授	信太 光郎 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		哲学 文化の歴史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	牧野 柁也 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学的思考の基礎 生命の科学
兼任	教授	松尾 行雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学的思考の基礎
兼任	教授	河西 晃祐 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(史学)
		東北学院史の探究
兼任	教授	岩谷 幸雄 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		データ活用による探究
兼任	教授	金 義鎮 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		データ活用による探究
兼任	教授	千葉 昭彦 (63) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		課題探究演習
兼任	教授	千葉 智則 (62) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		課題探究演習 スポーツ実技B 体育講義
兼任	教授	遠藤 隆幸 (48) ＜令和5年4月＞ 修士(法学)※
		課題探究演習
兼任	教授	熊谷 正朗 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		課題探究演習
兼任	教授	櫻井 一弥 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		課題探究演習
兼任	教授	政岡 伸洋 (58) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		課題探究演習
兼任	教授	渡辺 通子 (64) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
		課題探究演習
兼任	教授	信太 光郎 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		哲学 文化の歴史 クリティカル・シンキング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今井(林) 奈緒子 (63) ＜令和5年4月＞ Hochschulabschlussprüfung im Fach Orgel (ドイツ連邦共和 国)
		音楽
兼任	教授	津上 誠 (67) ＜令和5年4月＞ 社会学修士※
		文化人類学
兼任	教授	加藤 健二 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		心理学
兼任	教授	櫻井 研三 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		心理学
兼任	教授	萩原 俊彦 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		心理学
兼任	教授	平野 幹雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		心理学
兼任	教授	福野 光輝 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		心理学
兼任	教授	片瀬 一男 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	教授	佐久間 政広 (65) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	教授	鈴木 努 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(社会学)
		社会学
兼任	教授	鈴木 好和 (68) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)
		経営学
兼任	教授	矢口 義教 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)
		経営学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今井(林) 奈緒子 (63) ＜令和5年4月＞ Hochschulabschlussprüfung im Fach Orgel (ドイツ連邦共和 国)
		音楽 課題探究演習 文化の歴史
兼任	教授	渡辺 昭一 (69) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		歴史学
兼任	教授	津上 誠 (67) ＜令和5年4月＞ 社会学修士※
		文化人類学
兼任	教授	加藤 健二 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		心理学
兼任	教授	櫻井 研三 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		心理学
兼任	教授	萩原 俊彦 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		心理学
兼任	教授	
兼任	教授	福野 光輝 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		心理学
兼任	教授	片瀬 一男 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	教授	佐久間 政広 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	教授	鈴木 努 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(社会学)
		社会学
兼任	教授	鈴木 好和 (68) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)
		経営学
兼任	教授	矢口 義教 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)
		リーディング&ライティング 課題探究演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	篠崎 剛 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		経済学
兼任	教授	若生 徹 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		経済学
兼任	教授	宮川 基 (50) ＜令和5年4月＞ 学士(法学)
		法学
兼任	教授	木下 淑恵 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		現代の政治
兼任	教授	柳井 雅也 (65) ＜令和5年4月＞ 地理学修士
		地理学 東北地域論
兼任	教授	菅原(山尾) 真枝 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		社会福祉論
兼任	教授	増子 正 (64) ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)
		社会福祉論
兼任	教授	岩動 志乃夫 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(地理学)
		東北地域論
兼任	教授	石田 弘隆 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	篠崎 剛 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		経済学
兼任	教授	宮川 基 (50) ＜令和5年4月＞ 学士(法学)
		法学
兼任	教授	陶久 利彦 (69) ＜令和5年4月＞ 法学修士
		法学
兼任	教授	辻田 芳幸 (55) ＜令和5年4月＞ 修士(法学)
		法学
兼任	教授	木下 淑恵 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		現代の政治
兼任	教授	齋藤 誠 (69) ＜令和5年4月＞ 法学修士
		現代の政治
兼任	教授	柳井 雅也 (65) ＜令和5年4月＞ 地理学修士
		地理学 東北地域論
兼任	教授	菅原(山尾) 真枝 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		社会福祉論
兼任	教授	増子 正 (64) ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)
		社会福祉論
兼任	教授	岩動 志乃夫 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(地理学)
		東北地域論
兼任	教授	和田 正春 (57) ＜令和5年4月＞ 商学修士※
		東北地域論
兼任	教授	石田 弘隆 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	平吹 喜彦 (65) <令和5年4月> 理学博士
		環境の科学
兼担	教授	嶋 敏之 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端科学と技術
兼担	教授	星 朗 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端科学と技術
兼担	教授	宮内 啓介 (52) <令和5年4月> 博士(農学)
		先端科学と技術
兼担	教授	伊藤 則之 (64) <令和5年4月> 博士(工学)
		AI社会の基礎
兼担	教授	松本(半田) 章代 (48) <令和5年4月> 博士(情報学)
		AI社会の基礎
兼担	教授	坂内 昌徳 (56) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		英語 I A 英語 I B
兼担	教授	塚本 信也 (59) <令和5年4月> 文学修士
		中国語 I A 中国語 I B 中国語 II A 中国語 II B 中国語 III A 中国語 III B 近現代中国の歴史と社会 現代中国の諸問題
兼担	教授	金 永昊 (49) <令和5年4月> 博士(文学)
		韓国・朝鮮語 I A 韓国・朝鮮語 I B 韓国・朝鮮語 II A 韓国・朝鮮語コミュニケーション A 韓国・朝鮮語 II B 韓国・朝鮮語コミュニケーション B 韓国・朝鮮語 III A 韓国・朝鮮語 III B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	平吹 喜彦 (65) <令和5年4月> 理学博士
		環境の科学 科学的思考の基礎
兼担	教授	伊藤 昌文 (51) <令和5年4月> 博士(理学)
		環境の科学
兼担	教授	嶋 敏之 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端科学と技術※
兼担	教授	星 朗 (61) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端科学と技術※
兼担	教授	宮内 啓介 (52) <令和5年4月> 博士(農学)
		先端科学と技術※
兼担	教授	伊藤 則之 (64) <令和5年4月> 博士(工学)
		AI社会の基礎
兼担	教授	松本(半田) 章代 (48) <令和5年4月> 博士(情報学)
		AI社会の基礎
兼担	教授	坂内 昌徳 (57) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		英語 I A 英語 I B 言語論
兼担	教授	塚本 信也 (59) <令和5年4月> 文学修士
		中国語 I A 中国語 I B 中国語 II A 中国語 II B 中国語 III A 中国語 III B 近現代中国の歴史と社会 現代中国の諸問題
兼担	教授	金 永昊 (49) <令和5年4月> 博士(文学)
		韓国・朝鮮語 I A 韓国・朝鮮語 I B 韓国・朝鮮語 II A 韓国・朝鮮語コミュニケーション A 韓国・朝鮮語 II B 韓国・朝鮮語コミュニケーション B 韓国・朝鮮語 III A 韓国・朝鮮語 III B 文学

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐伯 啓 (65) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB
兼任	教授	呉 国紅 (53) ＜令和5年4月＞ Doctor of ENGINEERING (中国)
		海外研究A 海外研究B 海外研究C
兼任	教授	佐藤 純 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		グローバル経済Ⅰ グローバル経済Ⅱ
兼任	准教授	定池 祐季 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		共生社会と倫理
兼任	准教授	崎山 俊雄 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学技術社会と倫理
兼任	准教授	岡崎 勤造 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(学校教育学)
		よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	准教授	金井 嘉宏 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(臨床心理学)
		よき社会生活のためにC(健康)※ 心理学

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐伯 啓 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB ドイツ語ⅢA ドイツ語ⅢB リーディング&ライティング ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB※
兼任	教授	黒須 憲 (67) ＜令和5年4月＞ 修士(体育学)
		スポーツ実技A
兼任	教授	矢野 隆之 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		スポーツ実技A
兼任	教授	松原 悟 (65) ＜令和5年4月＞ 体育学士
		スポーツ実技A
兼任	教授	呉 国紅 (53) ＜令和5年4月＞ Doctor of ENGINEERING (中国)
		海外研究A 海外研究B 海外研究C
兼任	教授	佐藤 純 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		グローバル経済Ⅰ グローバル経済Ⅱ
兼任	准教授	定池 祐季 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		共生社会と倫理 課題探究演習 社会学 環境の科学
兼任	准教授	崎山 俊雄 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学技術社会と倫理
兼任	准教授	岡崎 勤造 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(学校教育学)
		よき社会生活のためにC(健康)※ スポーツ実技B
兼任	教授	金井 嘉宏 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(臨床心理学)
		よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	准教授	小林 陽介 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		リーディング&ライティング
兼任	准教授	谷 達彦 (42) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		リーディング&ライティング

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	土原(高梨) 和子 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		科学的思考の基礎 生命の科学
兼任	准教授	村上 弘志 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		科学的思考の基礎 自然の科学
兼任	准教授	角田 寛明 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		キャリア形成の探究
兼任	准教授	巖谷 睦月 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(美術)
		芸術論
兼任	准教授	原 貴子 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		文学
兼任	准教授	岸 浩介 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		言語論 言語とテクノロジー
兼任	准教授	井川 純一 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		心理学

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	門倉 博之 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		統計的思考の基礎
兼任	准教授	木下 勉 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		統計的思考の基礎
兼任	准教授	深瀬 道晴 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		統計的思考の基礎 AI社会の基礎
兼任	准教授	土原(高梨) 和子 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		科学的思考の基礎 生命の科学
兼任	教授	村上 弘志 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		科学的思考の基礎 自然の科学
兼任	准教授	柳澤 英明 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学的思考の基礎
兼任	教授	角田 寛明 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		キャリア形成の探究
兼任	准教授	中川 都太郎 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(音楽)
		課題探究演習 音楽
兼任	准教授	森山 盛吉 (63) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		課題探究演習
兼任	准教授	巖谷 睦月 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(美術)
		芸術論 課題探究演習 文化の歴史
兼任	准教授	原 貴子 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		文学 文化の歴史
兼任	教授	岸 浩介 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		言語論 言語とテクノロジー
兼任	准教授	井川 純一 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		心理学 よき社会生活のためにC(健康)※ 統計的思考の基礎

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	東海林 渉 (38) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		心理学
兼任	准教授	小林 信重 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		社会学
兼任	准教授	稲見 裕介 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		経済学
兼任	准教授	宮本 拓郎 (42) ＜令和5年4月＞ Doctor of Philosophy (カナダ)
		経済学
兼任	准教授	遠藤 尚 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		地理学
兼任	准教授	品田 光春 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		地理学 東北地域論
兼任	准教授	大澤 史伸 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		社会福祉論
兼任	准教授	井上 正子 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		ジェンダー論 英語ⅡA 英語ⅡB
兼任	准教授	岩田(本田)友紀子 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学
兼任	准教授	片方 江 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学
兼任	准教授	木村 敏幸 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		数理の科学
兼任	准教授	佐藤 篤 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	東海林 渉 (38) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		心理学 よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	准教授	小林 信重 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		社会学
兼任	准教授	宮本 拓郎 (42) ＜令和5年4月＞ Doctor of Philosophy (カナダ)
		経済学
兼任	准教授	遠藤 尚 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		地理学
兼任	准教授	品田 光春 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		地理学 東北地域論
兼任	准教授	大澤 史伸 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(農学)
		社会福祉論
兼任	准教授	井上 正子 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		ジェンダー論 英語ⅡA 英語ⅡB 文化の歴史 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	准教授	岩田(本田)友紀子 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学
兼任	准教授	片方 江 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学
兼任	准教授	木村 敏幸 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		数理の科学
兼任	准教授	佐藤 篤 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	星野 真樹 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学
兼任	准教授	文 景楠 (39) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		記号論理学
兼任	准教授	目代 邦康 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		環境の科学
兼任	准教授	翠川 博之 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語コミュニケーション B フランス語ⅢA フランス語ⅢB
兼任	講師	市川 樹 (36) ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)
		共生社会と倫理

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	星野 真樹 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		数理の科学
兼任	准教授	文 景楠 (39) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		記号論理学 クリティカル・シンキング 哲学
兼任	准教授	目代 邦康 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		環境の科学 地理学
兼任	准教授	濱西 伸治 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端科学と技術※
兼任	准教授	物部 寛太郎 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		AI社会の基礎
兼任	准教授	翠川 博之 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		フランス語ⅠA※ フランス語ⅠB※ フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語コミュニケーション B フランス語ⅢA フランス語ⅢB
兼任	講師	藤野 雄大 (39) ＜令和5年4月＞ Master of Theology(米國)
		聖書を学ぶ
兼任	講師	市川 樹 (36) ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)
		共生社会と倫理
兼任	講師	塚原 義央 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(法学)
		よき社会生活のためにA(法律)
兼任	講師	齋藤(太田) 渉 (44) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)
		リーディング&ライティング 地域ボランティア活動の探究
兼任	講師	西田 昌之 (44) ＜令和5年4月＞ Doctor of Philosophy(豪州)
		リーディング&ライティング クリティカル・シンキング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 圭 (37) <令和5年4月> 博士(社会福祉学)
		科学的思考の基礎 地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究 AI社会の基礎
兼任	講師	臼倉 瞳 (34) <令和5年4月> 博士(心理学)
		心理学
兼任	講師	武藤 敦士 (50) <令和5年4月> 博士(社会学)
		社会福祉論
兼任	講師	門間 俊明 (64) <令和5年4月> 文学修士※
		ドイツ語 I A ドイツ語 I B
兼任	講師	宮本 直規 (51) <令和5年4月> 博士(文学)
		フランス語 I A フランス語 I B フランス語 II A フランス語コミュニケーション A フランス語 II B フランス語コミュニケーション B フランス語 III A フランス語 III B
兼任	助教	嶋田(久間木) みのり (36) <令和5年4月> 修士(教育学)
		リーディング&ライティング
兼任	助教	遠海 友紀 (38) <令和5年4月> 修士(情報学)
		クリティカル・シンキング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 圭 (37) <令和5年4月> 博士(社会福祉学)
		科学的思考の基礎 地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究 AI社会の基礎
兼任	講師	渡邊 蘭子 (31) <令和5年4月> 修士(文学)※
		課題探究演習
兼任	講師	臼倉(高川) 瞳 (34) <令和5年4月> 博士(心理学)
		心理学 よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	講師	松原 俊介 (31) <令和5年4月> 法務博士(専門職)
		日本国憲法
兼任	准教授	武藤 敦士 (50) <令和5年4月> 博士(社会学)
		社会福祉論
兼任	講師	森島 佑 (37) <令和5年4月> 博士(工学)
		先端科学と技術※
兼任	講師	門間 俊明 (64) <令和5年4月> 文学修士※
		ドイツ語 I A ドイツ語 I B※ リーディング&ライティング
兼任	講師	宮本 直規 (51) <令和5年4月> 博士(文学)
		フランス語 I A※ フランス語 II A フランス語コミュニケーション A フランス語 II B フランス語コミュニケーション B フランス語 III A フランス語 III B 文化の歴史
兼任	助教	嶋田(久間木) みのり (36) <令和5年4月> 修士(教育学)
		リーディング&ライティング
兼任	講師	遠海 友紀 (38) <令和5年4月> 修士(情報学)
		リーディング&ライティング
兼任	助教	志田 絵里子 (50) <令和5年4月> 博士(教育学)
		リーディング&ライティング

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	阪口 慧 (34) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)※
		ベーシック英語 英語ⅢA
兼任	助教	Donnere Alise (36) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		英語コミュニケーション 英語ⅢB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	松本 達乃助 (35) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		リーディング&ライティング
兼任	助教	磯村 和樹 (33) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		地域ボランティア活動の探究
兼任	助教	千葉 真哉 (46) ＜令和5年4月＞ 修士(大学アドミニストレー)
		地域ボランティア活動の探究
兼任	助教	伊藤 大介 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		課題探究演習 歴史学
兼任	助教	中野 優子 (46) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		英語ⅠA
兼任	助教	関 東暉 (38) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		韓国・朝鮮語ⅠA 韓国・朝鮮語ⅠB
兼任	助教	阪口 慧 (34) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)※
		ベーシック英語 英語ⅢA 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	助教	Donnere Alise (36) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		英語コミュニケーション 英語ⅢB 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	講師	首藤 寛之 (45) ＜令和5年4月＞ 学士(経済学)
		よき社会生活のためにB(福祉)
兼任	講師	高橋 大地 (36) ＜令和5年4月＞ 学士(商学)
		よき社会生活のためにB(福祉)
兼任	講師	佐藤 静 (67) ＜令和5年4月＞ 博士(情報科学)
		よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	講師	中川(谷) 裕美 (32) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	講師	玉江 京子 (68) ＜令和5年4月＞ 理学修士
		統計的思考の基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川嶋 周英 (60) <令和5年4月> 文学士
		日本語ⅡA 日本語ⅡB
兼任	講師	Phelan Timothy (65) <令和5年4月> Master of Research in Higher Education (英国)
		英語コミュニケーションセミナー ビジネス英語
兼任	講師	宋 貞熹 (51) <令和5年4月> 修士(文学)※
		実践韓国朝鮮語ⅠA 実践韓国朝鮮語ⅠB
兼任	講師	田 靖 (34) <令和5年4月> 修士(文学)※
		実践中国語ⅠA 実践中国語ⅠB 中級中国語A 中級中国語B 上級中国語A 上級中国語B
兼任	講師	千 凡晋 (47) <令和5年4月> 博士(教育学)
		実践韓国朝鮮語ⅡA 実践韓国朝鮮語ⅡB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石井 裕明 (46) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		スポーツ実技B
兼任	講師	井上 功一郎 (37) <令和5年4月> 博士(教育学)
		スポーツ実技B
兼任	講師	藤本 敏彦 (57) <令和5年4月> 博士(医学)
		スポーツ実技B
兼任	講師	渡辺 圭佑 (37) <令和5年4月> 修士(スポーツ健康科学)※
		スポーツ実技B
兼任	講師	川嶋 周英 (60) <令和5年4月> 文学士
		日本語ⅡA 日本語ⅡB
兼任	講師	Phelan Timothy (65) <令和5年4月> Master of Research in Higher Education (英国)
		英語コミュニケーションセミナー ビジネス英語
兼任	講師	宋 貞熹 (51) <令和5年4月> 修士(文学)※
		実践韓国朝鮮語ⅠA 実践韓国朝鮮語ⅠB 韓国・朝鮮語ⅠA
兼任	講師	田 靖 (34) <令和5年4月> 修士(文学)※
		実践中国語ⅠA 実践中国語ⅠB 中級中国語A 中級中国語B 上級中国語A 上級中国語B 中国語ⅠA
兼任	講師	千 凡晋 (47) <令和5年4月> 博士(教育学)
		実践韓国朝鮮語ⅡA 実践韓国朝鮮語ⅡB

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
 - 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、実(実)、実(実)、実(実)、実(実))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業系の授業科目名」を記入するとともに、下段に

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

<p>●専任教員</p> <ul style="list-style-type: none">・佐々木郁子教授：「リーディング&ライティング」「課題探究演習」を担当・松谷基和教授：「韓国・朝鮮語ⅠA」を担当・三須拓也教授：「現代の政治」を担当・金亨貞准教授：「韓国・朝鮮語ⅠB」を担当・沓掛沙弥香講師：「リーディング&ライティング」「課題探究演習」「英語ⅠB」を担当・佐藤真紀講師：2023年4月昇任による職位変更（講師→准教授） <p>●兼任・兼任教員</p> <ul style="list-style-type: none">・2023年4月昇任による職位変更、統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、教養教育科目等を全学共通科目の位置づけにしたこと等の理由により、5教員組織の状況>(1)-①のとおり変更。
--

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	5	2	0	14	0	7	6	1	0	14	0
(7)	(6)	(1)	(0)	(14)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
7	6	1	0	14	0	7	6	1	0	14	0
[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授: 67 その他: 65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
--

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
--

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	該当なし	【届出】 留意事項	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部国際教養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学のFD活動については、全学的な組織である「東北学院大学FD推進委員会」によって、平成16年より授業内容・方法に関する各学部・学科の現状報告がなされている。それを受けて、全学的にFD講演会及びFD研修会を開催し、平成17年からはそれらのFD活動の概要をまとめた『FDニュース』を年2回発行することにより、全学的にPDCAサイクルを機能させている（資料1「東北学院大学FD推進委員会規程」）。各学部及び各研究科においてもFD活動を実施することになっており、東北学院大学FD推進委員会は同委員会規程第3条第1項第1号及び第2号に従い、各学部及び各研究科におけるFDへの取組状況を聴取するとともに、FDに関する情報を各学部及び各研究科に提供してFD活動の推進を図ることになっている。全ての専任教員が出席することになっている全学教員会議（年2回）においてもFD研修に関わる報告や講演等が実施されている。</p> <p>本学のSD活動については、学校法人東北学院人事委員会所管のもとに人事部人事課が年度毎に設定した職員育成計画に沿って活動を展開している。研修は人事部が企画立案し、実施している。東北学院教職員研修（全教職員対象）においては東北学院全体に関する事項をテーマとして取扱い、大学を含めた学校法人全体の方針について理解を深めることやスキル向上の機会を提供している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>東北学院大学FD推進委員会については、令和5年度も規程に従って、同委員会を開催する予定である。同委員会は、副学長、各学部・研究科から1名ずつ選出された教員、教育総合研究所長、学務部長によって構成されている。SD活動については学校法人東北学院人事会議に人事部人事課がSD活動の企画案を諮り、承認を受けて実施する。同会議は原則、毎週開催され、副学長（総務担当）が委員として出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD推進委員会では規程に従い、以下の事項を審議・検討し、その実施にあたっている。</p> <p>(1)各学部・学科、各研究科・専攻におけるFDへの取り組み状況を相互に報告し、意見を交換すること。</p> <p>(2)FDに関する情報を収集して分析し、情報及び分析によって得られた知見を、各学部・学科、各研究科・専攻、個々の教員等に提供すること。</p> <p>(3)FDに関する講演会、研修会等を企画・実施すること。</p> <p>SDについては、学校法人東北学院法人事務組織規程第4条（人事部の事務分掌）第2項第1号「イ職員の研修計画及び実施に関すること。」に従い、研修が実施されている。</p>

② 実施状況

a 実施内容

- ・新任教員FD研修会を令和5年4月6日及び7日に開催した。
日時：令和5年4月6日（木）、7日（金）9:30-12:00
場所：土樋キャンパス5号館第1会議室、五橋キャンパス講義棟3階L307教室
主催：東北学院大学FD推進委員会
内容：本学の教育方針とカリキュラム構成、授業運営に関する諸連絡、学修支援システム、学修eポートフォリオ、科研費申請、意見交換他
- ・令和5年4月13日開催の全学教員会議においてFDに関する内容を扱った。
日時：令和5年4月13日（木）15:30-17:00
場所：五橋キャンパス押川記念館押川ホール
主催：東北学院大学学務部教務課
内容：TG Grand Vision 150第II期中期計画2022年度実行計画の重点項目総括、今年度の大学運営に関する重点項目、AIを用いた学生の不正行為に対する注意喚起、認証評価受審に向けた自己点検・評価スケジュール、今年度の授業運営他
- ・令和5年度はFD研修会・講習会を2回行う予定であるが、5月1日時点で日程、内容等は未定である。
【令和4年度の取り組み状況】
- ・第29回FD研修会・講演会
日時：令和4年12月1日（木）15:00-17:00
場所：土樋キャンパス8号館842教室及びZoom併用
主催：学務部教務課
内容：講演会「なぜ今の若者は人前でほめられたくないのか？：キャンパス内で急増する「いい子症候群」の心理的特徴」（金沢大学金間大介教授）、シラバス入力説明会（学務部長）
- ・学部におけるFD研修会は年2回行う予定であるが、5月1日時点で日程、内容等は未定である。
- ・令和5年度の全教職員対象のSD研修会を1回行う予定であるが、5月1日時点で日程、内容等は未定である。
【令和4年度の取り組み状況】
- ・全学SD研修会
日時：令和4年9月1日（木）9:00-12:00
場所：Zoom方式
主催：学校法人東北学院人事部人事課
内容：新学部・新学科の設置、新キャンパス設置と授業運営

b 実施方法

- ・令和5年4月6日、7日開催の新任教員FD研修会は対面で行い、学内の施設見学も行った。
- ・令和5年4月13日開催の全学教員会議は対面で行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 令和5年4月6日、7日開催の新任教員FD研修会には令和5年度新任教員29名が参加した。国際教養学科は1名の新任教員が参加した。質疑応答では主に授業運営に関する質問が活発に出された。
- ・令和5年4月13日開催の全学教員会議は新任教員も含め、262名の教員が新設された1,000人収容の押川記念館押川記念ホールに一堂に会して実施された。質疑応答においては授業運営に関する質問が多く出された。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和5年度からキャンパス統合に伴い使用教室及び授業時間が変更になるため、全学教員会議及び新任教員FD研修会では学務部長が授業運営方法について詳しい説明を行った。4月14日から始まった授業において、FD研修で共有された情報をもとに各教員が授業改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価に関する全学組織として「授業改善のための学生アンケート」実施委員会が設置されており、授業改善のための学生アンケート実施手順に従って、専任教員及び非常勤教員の別なく「授業改善のための学生アンケート」を実施している。その目的は授業改善にあり、授業に対する学生からの声に基づいて担当教員が自らの授業をより良いものにするためである。「授業改善のための学生アンケート」は、全ての講義科目について、原則として各学期の授業の最終週ないしその前週に実施されている。本学科の令和5年度開講の全授業科目についても、7月下旬及び1月下旬に実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員の個別科目に関する「授業改善のための学生アンケート」の評価結果は、次の学期の授業開始前に LMSで公開しており、各自で確認できる。各教員はその結果を自らの授業改善に役立てるよう活用することとなっている。また、「授業改善のための学生アンケート」実施委員会は、アンケートの実施状況及びその評価結果をとりまとめた『「授業改善のための学生アンケート」結果報告書』として公開している。これを全教員に配付するとともに、大学ホームページに公開し、学生閲覧用として図書館及び学務部教務課窓口に配置している。個別科目のアンケート結果も同様に、学生閲覧用に図書館及び学務部教務課窓口に配置している。また、個別科目のアンケート結果は各学部長にも配付して、一定基準を上回る優秀教員には学長が表彰を行い、一定基準を下回る教員には改善計画書の提出を義務付けている。本学科の令和5年度開講の全授業についても、上記と同様の対応を行う予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学部国際教養学科は、【日本が置かれた東アジアと世界の諸地域を幅広く視野に入れ、そこに住む人々の社会・文化・歴史・言語の多様性を学び、相互に共通の課題や問題を発見し、その解決に向けて国家、民族、地域の壁を越えて協力し、行動できる「よき地球市民」の育成を目指す】ことを目的として令和5年4月に設置された。その目的を達成するために、以下の取り組みを行った。

1. 入学者の確保

本学部では、外国語能力を向上させながら多言語・多文化社会や東アジア地域の関係性及びグローバル社会の諸問題について、自身の興味に合わせて学ぶことができることをガイドブックやパンフレット、大学のホームページやオープンキャンパスなどを通して広報した。その中で、所属予定の教員の国籍や使用言語が多様であることや、多様化する日本で重要度が増している「日本語教育」に関する専門的な学びについて、詳しく説明するよう努めた。その結果、入学者は定員130名を上回る134名を確保できた。広報の手応えを感じた点は、総合型選抜で意欲的な志願者を得ることができたこと並びに一般選抜や大学共通テスト利用選抜において高得点層の受験者が多かったことである。次年度以降は、総合型選抜を強化するとともに、国公立大進学を目指す層にも本学部の特色を理解してもらえるよう広報活動をさらに充実させる。

2. 1年次配当科目の実施

1年次に配当されている専門科目は、「国際学概説」、「日本語のしくみ」、「日本語学I」及び「日本語教育学概論I」の4科目である。これ以外に専門外国語科目として英語6科目8単位、中国語と韓国朝鮮語それぞれ4科目6単位を設置している。

「国際学概説」は、本学科に所属する14名の教員が、それぞれの専門分野についてオムニバスで紹介する講義であり、本学科で扱われる学問領域の幅を知ってもらうことを意図して1年次前期に開講された。必修科目であるため、全学生が受講中である。

「日本語のしくみ」は、普段何気なく使っている日本語の特徴を意識化するための科目であり、言語の多様性の理解及び日本語教員養成への導入として、1年次前期に開講された。選択科目だが初年度は100名を超える受講者でスタートしている。この科目で日本語の分析に興味を持った学生は、後期に「日本語学I」を受講してさらに学びを深めることになる。なお、日本語教員基礎資格の取得を目指す者は、これに加えて同じく後期に開講される「日本語教育学概論I」を受講する。

専門外国語科目においては、以下の科目が1年次に配当されている。

「総合英語IA」「総合英語IB」

「英語コミュニケーションセミナー」「英語ディスカッションセミナー」

「英語リーディングセミナーA」「英語リーディングセミナーB」

「初級中国語A」「初級中国語B」「実践中国語IA」「実践中国語IB」

「初級韓国朝鮮語A」「初級韓国朝鮮語B」「実践韓国朝鮮語IA」「実践韓国朝鮮語IB」

三言語のうち一つを選んで4科目6単位を履修するよう指導したところ、ほぼ想定通り、英語約60名、中国語約30名、韓国朝鮮語約40名に分かれた。なお、英語も学びたいという意欲を削がないため、中国語又は韓国朝鮮語6単位に英語を2~4単位追加して履修することは認めている。

以上のことから、設置の趣旨・目的に関して、令和5年5月時点としては当初の計画を概ね遂行することができていると考える。

② 自己点検・評価報告書

東北学院大学における点検・評価は、平成4年に制定された「東北学院大学点検・評価に関する規程」に基づき原則として3年ごとに実施している。本学科については、令和5年4月に開設されたため、現時点ではまだ自己点検評価活動を行っておらず、報告書も作成・発表していない。

a 公表（予定）時期

本学科については、令和5年4月に開設されたため、現時点では自己点検評価活動を行っておらず報告書も作成・発表していないが、本年度中に自己点検・評価を行う予定にしており、報告書は令和6年5月末に公表する予定である。

b 公表方法

大学ホームページ上に公表予定（令和6年5月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

平成29年度に大学基準協会の認証評価を受審し、平成30年3月28日付で大学基準に適合していると認定された。認定の期間は、平成30年4月1日～令和7年3月31日の7年間である。したがって、次の認証評価の受審は令和6年度を予定している。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○東北学院大学FD推進委員会規程

平成15年12月22日制定第14号

改正

平成16年4月1日

平成17年4月1日

平成20年4月1日

平成29年3月22日改正第66号

令和2年10月14日改正第84号

令和2年12月24日改正第141号

東北学院大学FD推進委員会規程

(設置)

第1条 東北学院大学点検・評価に関する規程第10条に基づき、東北学院大学点検・評価委員会（以下「点検・評価委員会」という。）の下に、東北学院大学FD推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的及び定義)

第2条 委員会は、東北学院大学（以下「本学」という。）における各学部、各研究科及び各教員の教育活動の質向上を支援し、かつ、新任教員を対象とする本学の3つのポリシー（「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受け入れの方針」）に関する研修の企画及び実施に当たることにより、教育方法の改善を図ることを目的とする。

2 この規程において、「ファカルティ・ディベロップメント（FD）」（以下「FD」という。）とは、前項の目的に従い本学の教育職員を対象とした教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の諸活動をいう。

3 前項に定めるFDの企画及び実施に際しては、東北学院大学の基本方針に掲げる教員組織の編成方針及び教育活動の基本方針に従い、本学教員の人材を育成し、その能力向上に資することを主眼としなければならない。

(審議、検討事項等)

第3条 委員会は、前条第1項の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議及び検討し、その実施に当たる。

(1) 各学部及び各研究科におけるFDへの取組状況に関する報告を聴取し、FDの推進に向けて

必要な改善の指針を提示すること。

(2) FDに関する学内外の情報を収集し、その分析によって得られた知見を、各学部、各研究科及び各教員に提供して、FDの推進を促すこと。

(3) FDに関する講演会、研修会等を企画及び実施すること。

(4) その他FDに関すること。

2 委員会は、学内の関係各部局に対し、前項に掲げる事項の審議に必要な資料の提出を求めることができる。

3 委員会は、毎年度その活動の状況を点検・評価委員会に報告するものとする。

(組織)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) 副学長（学務担当）及び副学長（点検・評価担当）

(2) 各学部から1名ずつ選出された教員

(3) 各研究科から1名ずつ選出された教員

(4) 教育研究所長

(5) 学務部長

2 前項第2号及び第3号に掲げる委員（以下「選出委員」という。）の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 前項の規定にかかわらず、選出委員が任期途中で欠けた場合に新しく選出される後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員会に委員長を置き、学務担当副学長をもって充てる。

5 委員長は、必要に応じて、委員以外の者を委員会に陪席させることができる。

6 委員会は、必要に応じて、小委員会又は作業部会を設けることができる。

(委員会の招集及び議事)

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長により指名された委員が委員長の職務を代行する。

2 委員長は、委員総数の3分の1以上に当たる委員から要請を受けた場合は、速やかに委員会を開催しなければならない。

3 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

4 委員会の審議事項は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(事務)

第6条 委員会の事務は、学務部教務課において処理する。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、点検・評価委員会の発議に基づき、教授会及び大学院委員会の議を経て学長が行い、理事会の承認を得るものとする。

附 則

1 本規程は、平成15(2003)年12月22日から施行する。

2 第6条第1項の規定にかかわらず、平成15(2003)年度に選出された委員の任期は、平成18(2006)年3月末日とする。

附 則 (平成16年4月1日)

本規程は、平成16(2004)年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年4月1日)

本規程は、平成17(2005)年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年4月1日)

本規程は、平成20(2008)年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年3月22日改正第66号)

この規程は、平成29(2017)年4月1日から施行する。

附 則 (令和2年10月14日改正第84号)

この規程は、2020年10月14日から施行し、2020年4月1日から適用する。

附 則 (令和2年12月24日改正第141号)

この規程は、2020年12月24日から施行する。